御誂帳

雪散屋其残編

増補 探題早合点

序

俳諧の新式を守武
定る又ゝ多い御傘と
貞徳撰を後祖翁発句
俳風如一変されと歌
集ゝ多ゝ季の詠山
の井を用おきたる
ゝもとりくまひらけて
季波東影林集或八形
季を也事を郎まきまくに
様するの動を
にまとひて都鄙の勝地
をも記性をまさ粧俗の
言語をも留ひて後ゝ
止ぬ白を遺恨にそのゝ

免今や伝流の真蹟
うものはまた四季部類の
歌を小冊にしく解説今
乃人の流自と云ふべし
巻を拾ふ常に
に流れ易も掌中
一瞬に見るもの実は
俳中世二の孫出成へし
丹溪八世先哲の孤集
も多るまゝ巻の始
に月の本は寄寓むち
ひて秀筆と採ふ時
芙蓉戊辰夏望浅漠一日

蓬山

凡例

一世に教鞭を用ひ人をみちびく所以は只俳句を好みて世の
村雲折ふる毎に句数小冊過ぎ
日を経るのうち必ずしも起耳
座を移りたるもの多くは
百数を自ら余神釈ふ故人
事も適用る句数を挙げ負
句を予ニ百余の数枚餘巻を
彩る者中ふ多く楽活の如く誌を
一年波字歳時記六法字ふ人不特
生ふ雑諧出漢ふ多出れ
抜ふ残抜ふ事かゝし枚ニ探歌
早合点ニ当ふ
二巻小蓬莱巻つゝ別品ふ者と
新しく庶人を述ふ出れ
嘆ふ去のひすゝのれを

探題早合点

春之部

朧月

太郎月

元日

初日

立春

初霞

元日の霞

初霞

芝浦に東の上のそらの霞　紀世

我長の松をもまもるを初霞　西鶴

初鶏

初鶏の元日と鶏旦とかくるなり

初うぐひす

初うぐひす四つ鳴くなり　馬世

出もやらぬ山ぢの雪の初うぐひす　卓郎

子日

子の日の松ハかるべき松のかげ

法師の髪ハ剃れとぞ思ふ　子の日の松ハ

ひとう春もくれぬ年の子の日　去来

春ごとの松ハ小さく成ぬるか　素東

小松曳

曳うつ小松を歳と共に上て
第と高きを子を祝ふ　童牧

小松ひく野辺つかさの子を祝ふ
引や小松去年ハ芝ハ　護物

生てみひしき

初齋

一ト竹をそへてうゑ八四方にし初てうゑ　宗爲

松ごとうゑ方出し紀日の限とうゑ　美人

大膳の菜あり

菜屋中（根子と山椒を
ぬはしてのかれ）

大福

大ふくハ去年の菜屋の
大ふくやものうしの　陽川

蓬菜

蓬菜の神へ奉る
蓬菜の神へ奉る　凌蕪

喰積

今の童結のもと文　雅
有　我

大著

稲麦草

初夏

若水

井ひらき　初手水

境餅

羊玉

若餅

御夏

羊礼　礼者

礼者

年始

[illegible]年中の年始が[illegible]　貞義

[illegible]

[illegible]　芳州

[illegible]　物外

[illegible]　省我

庭竈

[illegible]　翁

[illegible]　東雲

[illegible]　繁游

雑煮　かんをいはふ

[illegible]

[illegible]　文花

[illegible]　素璋

屠蘇

[illegible]　千路

[illegible]　稀知

歯固

[illegible]　北枝

[illegible]　如坊

若夷

[illegible]　芳衣

萬春楽

[illegible]

大黒舞

[illegible]

萬歳

[illegible]　芳叶

[illegible]　一椿

猿曳

[illegible]　朴我

[illegible]　花人

傀儡師

[illegible]

春駒

鳥追

無恵文

室引福引

吉書

福初　松囃

蓬莱

弓始

着衣始

馬のり始　舟のり初

稲積始

湯殿始　ゆどのみそをあらそ

彈初　吉兆のうんぷうう

歌始　和歌をはじめ給ふ

朝賀　朝拜　奏瑞

四方拜　天皇元日宮の御殿に於て天地四方を拜たまふ

奏賀　去年の内に奏事を出らる年号と天子の年号とを

國栖奏國栖笛

水撫

三ヶ日

去年今年

腹赤奏

年男

門松

菓盒子

福芋

歯朶

榿

楪

かまう栗

瓜隆

恵方

割うけ

料の物

芋頭

小殿菓

野老

掛鯛

海贏貝

数の子

先ら出る木数の枝ハ枝ハ出る毛
数のそのもの数多く花ら 糯 和

螺肩

田ふ　ー　ー　あり

数ら木ハ出くそれ　ー　ら　ハ　梅　梅岡
一通りもきらへて実ハ　ー　者　年重

押鮎

節ハ二月二寸三月三寸
と思ふ舞ひて博ハ加
祝ふ法

押鮎ハ生ハ生の葉 絡ハ 重ハ

糯俵

神ら葉とも出のうて
ハ実源ハ出ひさく俵
ハやくとと出て俵ー 加法
名者 遠葉 葉ハ出きう
又ハて 破ー て 嘴ハ

粥杖

あさきくをさきうを
あの木 祝ひ 祝 ふれ用ー
うをとの木とニ人ハ加ふと
切りて名つくて 祝を男稲
のやく 粥 畑の 庵 ふて
ハ年ふさるとすきうら 祝 ふ
粥ハ加ふ

粥杖ハ粥ら
あ杖ハ沈豆

粥柱

七日ハ十八日ハ加ふの
中へ入ふ　あらはもち

出其枝の枝ふ
ハ枝の枝ふ　雪ハ
あ枝の枝ふ
ハ枝の枝ふ

幸木

賣初　初高　帳閉　帳書

松の門　後連の門

松の門　貞 祝
ふれ　ふ　ふ　ふ　松の門　木 木

星佛

炉ハの枝ふ　ハ　寒 ハ

依愛毛爆竹

依愛毛爆竹　ー　ふ　ふ　ー　ハ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ハ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ハ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　集
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ

依愛毛ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
依愛毛ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ

菱の花と加ふ

ひしのハなと
ハ加ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ
ふ　ふ　ふ　ふ

水祝

年徳　惠方棚　年棚

嫁君

羽子

手鞠

毬打

玉打

ふり〳〵

破魔弓

如願

人の日

網曳

玉張打

養父入

卯杖

昔正月

上元

余意

鄉愛

中元

下元

春雪

雪消

雪解

氷解

雪汁

雪間

凍解

山笑

東風

正月

二月

霧

暖

永日

遠日

佐保姫

陽炎

糸柳

春風

春雨

春丹

春夕

春夜

春朝

春水

春山

春海

春川

春野

春日

春雪

春地炉

七種

薺

まちかね小児ぺらく草かと

一本子ぞ夜清まうくかつのきさる　雅
ぬれ稲や蓄ゆるとおもふさら　嵐雪
帆を挙ぎ蚊も志み蓄ゆれ　素檮
おもむき方つく青かのを　淡窓
蕪菁や蓄ひおもまかのしき　一茶

芹

我ものと織の道し根芹かな　丈州
そとふこう流れて根芹哉　湖川
芹洗ふ人し清水の曖み　州君

仏座

おもむきと之事菜子と以ふ

こと(も)かくぶんで蕪ころ仏の座　梅室
畢竟もつくうって仏の座　巴瀾

そ菜とひって蕪のひえ

菘（スヾナ）

音(の)のふしてつゝきのとはきかさい　需山
まる菜なりとも

蘿蔔（スヾシロ）

大根之み大根の切口より
蕪ふの日に芽をだすゆへ
輪切りんたつるの面人
漬ち以ても女房の見
まま(ろ)ひくし菜の小附かれ　其梅

五形

げんげ赤むくさきまちかさまさ咲菜咲くこまうし

まど(へ)いき形の狗　蓼良
ときこのちんかつもそ一茶

すゞべら

以にて出し蕪菁つるよとも
以ふなり

若菜

若菜摘む青つ日初しのぎ梧　梅泥
手伝ふ小桶も手折て若菜摘　雪麿
菊を畑て出たふまつか菜すゝ　清蕉
水引かけ夜あとや袖のなし　五鈍
若菜摘風を身下て袖なし　悠園
若菜つむ人影合ね紙衣川　鴛喜
若菜のみ雪にうすむ(ゆき)みかな　くる鳥
籠(の)枝は木にとふ荒菜　九靱

水菜

くるくま象は菜かさら
川の辺の水菜に魚の水鶏かな　ム之
かなり

薺菜

つみとてし菜ハ明ちてう(な)けに云
やうくひそおと云
鶯の来る花ふけむれか　成箕

不菌

鶯の気をうけて州の(へ)もかつを以ふ
小かえや青二ちうる味のうち　的翠

蘘（ツワブキ）

芒(きと)へた幹小かまきは菜中に浣　(ツミヾ)
茎の根うる生しゝ

蘆

土筆

茲子菜

蕗

若草

草萌

よめ菜

麦草

本草

梅

[illegible]

未開紅

[illegible]

梅柳

[illegible]

ちり梅

[illegible]

野梅

[illegible]

梅暦

[illegible]

若菜

[illegible]

[illegible]

[illegible]

松の花

十日花百葉に一度咲[illegible]

[illegible]

柳

三月之[illegible]

[illegible]

[illegible]

椿

玉椿 つらつら椿 八重椿 [illegible]

[illegible]

鶏冠菜

色紅しかしこれは [illegible]

三葉芹

菠薐菜

[illegible]

蔓芋

水州なり

[illegible]

野老芋

山ところの [illegible]

山藥

[illegible]

生類

白魚

[illegible]

魚鱗上る

[illegible]

三月三日

[illegible]

百千鳥

[illegible]

鶯

[illegible]

鏡

[illegible]

衣食

福引し

[illegible]

七種うら

[illegible]

蓋振舞

[illegible]

小豆粥

[illegible]

廿日恵子

[illegible]

蕪蒸

[illegible]

干かぶら干大根

同刺

[illegible]

子の日衣

[illegible]

三月三海棠

干鯉

[illegible]

酢蛤　蛤のもみ殼をすまして酢かけたり

李の菊漬

この李も菊漬也　本の菊漬　泉州

麻尾菜

根ハ八重のごとくひしきなり　泉州

海雲

海雲の味ハ海の味ハ海の味　生藻

和布

海苔

海苔のり　甚のり　あさのり　浅州のり　賀のり　筑州のり　筑後のり　伯耆のり　海苔

神釋

番鍋

番鍋　熱湯に紀州の塩を入れ　保盛

船玉祭

正月二百廿日の神をまつる

天物宴

正月二百廿日の晴天を祭て船玉を祭り人々酒肴を天物宴

居祝

正月九日ハ民間の宴人　商家を賀して年賀　女神祭

常陸帯

正月十日ハ民間の神を祭り男女ともに社へ詣て祈願　一寸

御長

正月十九日ハ民間の神を祭り男女ともに社へ詣て祈願　一寸

公事故事

縣石十一日

二月の新

乾坤

二月の炎

脫月

車始

社供養

六質汁

初稲光

初雷

喜多

貝寄の風

出代

風呂

社日

社雨

植物

初花

初鶯

紅梅

黄梅

櫻木 つゝ花

櫻桃木花

柚杞

五加木

種井 種ひさし

種部 種蔚

種垂る

畑打 畑こうし

田打 田かへす 田をすく

苗代

苗代茱萸（ぐみ） 苗代の比実をむすぶぐみなり

瑞香花（?） 花白いろ
[illegible] 只[illegible]

[illegible]花（?）
[illegible] 翁

菜の花
菜の花や淀も[illegible] 翁
[illegible]を中に小[illegible] 蕪[illegible]
菜の[illegible]千株[illegible] 野山 [illegible]
[illegible] [illegible]

大根花 [illegible]
大根[illegible] 松[illegible]

紫[illegible]
[illegible] 一[illegible]

虎杖（イタドリ） [illegible]
[illegible] [illegible]

水葱摘（コナギ） 水あふひ 浮沈[illegible]

道[illegible] [illegible]

萵苣（チサ） たうちさ 川ちさ
[illegible] 蕪[illegible]
[illegible] [illegible]

胡葱（アサツキ） [illegible]
[illegible] 南[illegible]
[illegible] 牧[illegible]

獨活（ウド）
[illegible] [illegible]

松菜（?）
[illegible] 天[illegible]

早蕨 つくづくし
[illegible] [illegible]
[illegible] 丈[illegible]

杉菜 [illegible]
[illegible] 菜[illegible]

稗蒔（ヒエマイ） [illegible]

鼓草 [illegible]

蓮の根ゆり

蘆蘚

麻蘚

稚芋

菜根分

菜苗

芦角

焼野

山焼 畑焼 野焼 焼草 焼

萩の若葉

蕎の若葉

萩の若葉

蓮 蒜 野蒜

生類

蕨

雑子

鶯

壺鶯

揺ひすう

鶴

緒方の鶴やう

貝

[illegible]

松むし

[illegible]

鶉

[illegible]

雀子

[illegible]

鴨

[illegible]

鴨

[illegible]

鶴

[illegible]

海山海特

[illegible]

鶴鶴　鮭

[illegible]

蛇

[illegible]

蟹

[illegible]

蝶

[illegible]

蝉

[illegible]

蛇穴を出る　蜥蜴出

蛇穴を出る

馬刀貝

蛭

蟶

飯蛸

田螺

以へ梢の首尾やゝわれて墨子宍々　来山
飯さゝや州外足ふ近ずく浜　郷壺

諸子魚
瀬々からひさき家
ふで二寸ますりすり

初鮒
去年してん人椛かあるの小鮒市　九董

雛子飯（ヒシコノコトル）
挫火洋雅甫話あるそと

落角
落てかる角まてあり女鹿かな　栗史
小男鹿よう拭きん角のかと　一茶

孕鹿
たゝかと雄ふうくるや孕鹿　大江丸
濡らんゆく足ぬかしたり孕しか　王猪
小鹿から行くかあるや孕鹿　蕪光

猫の恋
猫の妻　うかれ往き
袮こさかる　つまを猫
猫のつま寝の船より東ひたり　蕉将
猫の恋あなから啼て気なり　坐坡
恋猫の遠ふ来ありて恋へ　濃堂
川端をありにしてなりの恋猫かな　然く
夜く小声ありて世をうかれ猫こ　る柱
うかれ猫とめてまみけてみせまさ　一茶

猫の恋つらみして夜まりまり　呂人
耳うく実ちて家の猫の妻　公蔵

衣食

治聾酒
社日のやくりふ出す

鮒鱠
飯たふりけて二月やふな鱠　丸部
もし鱠（カレヒ）
塩水で蒸しかけてふ
してあくなり

神釈

初午
その午やまつ夜嫌の混ぎ紀　玖明
初午や藪の中なるのぼり旗　雪う嘯
初午や枝の木の影うつれ立　蕪
その午や新笠かかる杉ひき　東半
初午や以の中あそこ舞雄は　山古

釈奠（ヨキテンリ）
二月と八月とのり　丁子日
十哲の影を祝る

水取
一日より十四日まで東大寺
東大寺で読経行法
毎年二月十二日の夜に水
壺の水をくみて牛王を

[illegible]

菊酒

[illegible]

芝能

[illegible]

涅槃

[illegible]

雪の果

[illegible]

彼岸

[illegible]

踊念仏

[illegible]

時宗踊

[illegible]

水口祭

[illegible]

西行忌

十五日

[illegible]

卒塔婆

積塔とも

[illegible]

三月

上巳

昔ハ三月初の巳ノ日を節句とせられし今ハ三日を用ひて節句とす又節句の一つなり正月一日三月三日五月五日七月七日九月九日是なり

ふるのゝ雪も桃の節句られ　梅室

弥生

三日や冬のなごりの葉一葉　丈草

三月や清水も溢れうて　伝聴

のびる日のあれひて弥生かな　永年

月ほしてむかふけむ弥生かな　梅室

下る雪のころふ出さ弥生かな　貞徳

雛

内裏雛　often ひな　ひなの酒

かしきの神ハ出れを我かひな　素角

婢のひれとしつくおきに見るまる　崖雪

あらんても笑ふて手ひきけれ　千代

稚苗て遊ぶ雛のいるしかな　累更

手ふられて来るもるくと負ひけれ　梅室

家ふ人の見ん人不押る雛の姫　其綿

そのこ子の世話りなぞ雛流かな　椎堂

余所へ出るひゝな折られかな　文柱

好くをひなの前折られ子かなかな　和我

蔓倒れつりしひくなの飾かな　雨謹

来ひなりふつるかよ多く来ひかな　必雄

我雛のちりりか家しりよ合か合　梅室

手ふのせて市をまかる雛かな　児外

高きを踏

水つのふ出てさて里ハ高きへかむ　義仕

高きふむ石の老をも膝ゝそ　一止

高きふむ桜の老くは縄をうけ　

そその家ハ小村のかり

たか宮へふみかとおし

引して植木の所ろく

鞦韆の花を生ひしゆかな

鞦韆（ぶらんこ）

ぶらんこも桜のむきを招きから　一茶

故ありを眺む

汐干

兼ねの日の小敷ぶる浦の汐干かな　越人

芋桶もてるまでかしこるる汐干かな　良裕

又は大阪の番も汐干かれ　田来

蓮まから絵から汐干かな　田柳

小弓引

極めうりと久ちひきさくして公家流の目で何とひなるうし今ハ京の町家たはむるし

小児のあそびにひとり
揃りてうりひさぐこと之
寒食より百五日目ハ
唐土にてハ此日火をたかず
以つて此日冷食をたうべる也
いへり

寒食

寒食や新茶に香の嵐　一茶
寒食や桃やうの雪を横切る　挙白
寒食や以呂はにほへと寒梅を　琴風

硯取

去統の出来ぬ事なり

曲水

流れくる水 盃なかし
三月三日盃を浮べて流るゝ
河辺に並びて盃を待つ
其詩を作りて酒をのむ
事を曲水の宴といへり

曲水を見て事とする小盃かな　木本
盃の流を神ふるふてふりかし　石流
盃を見るをうけて三日の月　一茶

八十八夜

立春の日より八十八日目
を云日より霜のなごりも
なきをきりといへる
ある也

別霜

せられ霜 霜のなごり
とも云 八十八夜をさし
て云なり

名残とおもへば花ちる土の霜　芭蕉
雲のさかりの別し頃　角丸
濡色に出るふゆの霜のなごりかな　吉洲

紅毛渡（オランダワタリ）

三月ハ海上静なれバ
おらんだも花に来にけり馬に鞍　翁

初虹

炉塞

あたゝかし
炉ふさぎの塔くらし夕の雲の下　杏園

孫生山

春の山といへり

帰の秋

八月を帰の秋といへり
三月を帰の秋と云　洽

新妻

春の春 まつの花嫁
やう妻ふく送への妻の好き迄へ　一茶
水菊八州ゆくれてまるの好　宵川
好妻の妻さうられて春のひとり　春嶺
好妻のゆうたゑその餅の色　文純

暮遅

三月豆　孫生豆
構そのいとしうるゝ孫生豆　二桂

夏近

夏ちかくなりて世をすてし水うつり　神苑

夏籬

ひとき田の苗子入みなり夏ちかし　雪水

植物

梅　各梅　雑梅

各梅やもりせうけくこう藤の実　柳居

梅とつのさきこいのもみなり梅の中　小村

かりと光ふせてこ本ふうら梅のあ　長子

櫻　ちる櫻　櫻

木のもとふけもかるもも櫻ふ　翁

寸の櫻の櫻こいのふ多ー酒の肴　秋色女

多ー秋の大めーくもも櫻うめ　一茶

屋敷ふの多の櫻りを洗　すきくらふ　義見

櫻ー多の櫻りを洗　すきくらふ　義見

吟星の櫻さ多ん山うのいら　宝角

表さくらめとうりの草花小ちをき　茶入

ちりはうてくまのつけられ櫻ふ　決明

おらせ名といてしはくらも義そう　一茶

散の名八屋敷のそるはくらられ　雪之

屋神のはくらう咲さ多うふ　曲松

山櫻

多ーぬ人の折そくれそ山はくら　牛仏

山はくら世八むつくきつも本ふ　雅楽

八重櫻

八重さーら咲さ乳日の体さく　素山

遅櫻

遅八源山ふ咲りて花をさくら　戦洋

源州八はめの里ふうあをはら　梅窓

花を櫻世ひろの寺きに祖ふれ百論

ちりはうりちる世　花凡

花

春ちくハちの上ある自然ふ　翁

花のあをちるる人のもちくれ　去来

きれ名ふ強れくしたのおうれ　董

夏ふみくそうを花の白乾溪

折るの世ふ女中のあ人ふ　雪房

花のあくふのとかくふ花と　湯川

むはうり春よくるる白ふ　浪変

はくくみーてくれ　千房

変ふ乳のちくひくふ世の中　田村

待の変家根このー花ふんれ　梅窓

ゆふくれて物寄し花のくれ　暁臺
咲からに見るからに花のちるからに　鬼貫
花の戸に出て立さるもあり　芝蘭
ちりかゝる花の中　山村
雨降る声さへつゝむ雨夜の花の暁　乙総
ちる花をうけて墨さく露　一孝
なき中に燭る哉かゝり花の暮　成美
おちりてう比世に風ハ要なり　重厚
ちる花の一本に世をまる深山の札　蝶夢
散花や帯ぬきす石のうへ　菜兆
旅人に花ちりかゝれておこる　泉沢
一僕とぬりしいつさくちる　季吟
飛鳥の花をさるあるさくら　余下
是かくとえらりちのよしの山　支宮

花守

うしろやさく宿の翁　一瓢　士朗
花守の花をそこらて出れたり　鶴吉

花墨

花の下よし一面の人はなり　暁臺
花つくの天気なりなりおくれり　史邦

花の雲

花の雲ハ上の水流くさる　蕪村
花のくも虜とかくりも世なりなり　子守

木蓮花

雨に田畑に折れ木蓮花　斗升
花にしあらき桜の詩や木蓮花　尚白

海棠

海棠やにほふるその夜の雨　常園
かくや誰も書つる雛かつら　暁臺

林檎花（リンゴ）

句なし　也雅紅

楊梅花（ヤマモヽ）

梨子花

句なし

日本にもさかれハなし梨の花　一止
梨の花咲や皆さくらの夜　杏仲

山梨子花

句なし

庭桜

ゆすら梅

句なし

木瓜の花（ボケ）

句なし

ちりかゝる木瓜や草の中　芝蘭
木瓜の花霧なく散りけし　寥松

日の初はふしは井ふ本孔の咲へし　楊吉
乃芝ふ赤つうてさくふ本孔のむ　稜之

香の実（アヒル）　からすうりの実

からすうりのおやし業所の下ろまへ　巻四

蘇（スモ）の実　色赤

さふ赤ろうつわこくみくろ苔ろ孔　尚志
まそ咲やし賞ちろ女まむと吟　成英

楓（ヒサキ）の実

こまろ死ふまて
色赤ろ

胡桃（クルミ）の花　ふく黄ちて赤

馬酔木（アセビ）花　小赤きもふ赤きを花ろ

藤（スロウ）花　まろちろ〜すんろろの
ろふ赤ろ

いちや二の下ろうちふもちろ咲　智秋

長春　ちふ紅之　校ろうけり

沈丁花　ちふはむくまき
ふふひたろ

八ふの孔れろふ赤ふやふ流下む　智秋
流下ハ赤ふ色ろしひるの月　こは人

石南花　葉ふもしの木の葉ふて咲　ちふ紅之　校ろうけり
ちを抜ちを抜ちを抜ちを抜ちを抜　尚志

辛夷　ちふ紅之　校ろうけり
形木ふを似て白ひけり

風ろろそろつるふ　巴水

連翹　咲ろちふ

芝翹やし色八ちんて小赤ろ　金精子

小手毬　葉八ふつきふ似ろ
ちふ八まりと似て小ぶし

小米花　ちろ紅ー　米のころ
むさろ

小米ちふ赤ふ色ろ　卒

丁子叶　ちふ紅之　校ろうけり
色葉物ふふろ

令法（ヤタツモリ）　ちふ紅之　校ろうけり
ちふ赤ろ葉ふつふ赤ろ
はろ赤ろを咲ろ赤ろ
煤赤ろし油咲ろはて
吟ふ

えろろろつめろ赤ろ　市笠
名を吟て赤ろ赤ふ赤ふ　尚志
名を吟て赤ろ赤ふ赤ふ　令法　一茶

鄰燭　全

百合の石ふつろ赤ふ　全
蜂ちこ法つしの様や蠟のろ　重芝

[illegible]

蕎

[illegible]

通草花

[illegible]

茶摘

[illegible]

仙翁花

[illegible]

蕨萆草

[illegible]

山吹

山吹や[illegible]

春菜

[illegible]

母子草

[illegible]

撫草

[illegible]

九海草

[illegible]

金蘭花

[illegible]

金雀花

[illegible]

五形花

[illegible]

田のくろしそこ有ものとあり

ホクリ
長葉花

むからんに似てひらく
浙黄色なる花の葉
そきて一二本葉のうち

芸に似たるしるし

ねぢすみ

すみつくりの花も似ん
蘭生ひ中々の森茂しは
[illegible] 丈た

葉にもまはらもんに似花の薊なれ
蒔の花て咲きた薊哉
[illegible]

菫

山路来て何やらゆかしすみれ草 翁
なつかしき紀の国が世たより菫ぐさ 茶史
鼻紙の間に志ほるゝ菫かな その女
鉢のまはりこそたゝる乾きかな [illegible]
たそかれの花をまたれぬ西日かな 蒼虬
余の草の口のそゝふかき菫かな 永保
見るかへりておもく咲しすみれ草 由誓

ツハナ
茅花

ちるやそこの茂みも地に是
みな手のひらにて渡す

浪花子ありしから摘んで花をまいては [illegible] 月居
四五軒の村ふみも茅花の多き 九華

カリヤス
馬蘭

花茎むれるさまそ也

荷花の叶

やすらの草むしの茂り
蓼も咲る

穀すへの花も蒼々てこの荷花の草の一映

若菰

水草より菰生ひて色
ふそ此時の茂り似たり
ながらへては花をゆらぬて
喰はふかし日まで行

三月菜 三月大根

蕎麦

ひと畑のひらの中ほどの蕎麦の花 東水
蕎麦かし咲く頃は花の紀州の蕎麦 山吉

生類

鶏合

清涼殿の前にて鶏を合せ
させ給ふ 後鳥羽院の時
御鶏のやどり鶏の合 去蕪
鶏のかちまけかぎりは [illegible] 再娘

呼子鳥

以前は此せの程にて [illegible]
詳なる人を呼ぶ
ものの字ある真かの忍
と見えて百舌鳥つし

雲に入鳥

春雲に入は清らに入り [illegible] 素谷
入あひの雲の茂りて雲に鳥 暁た

世ふ心ふ春さちらして雲雀哉　如蛍

雉子の巣

こしの巣や松の葉越の星明り　岩ん

時鳥の巣

時鳥巣ふかくちらへ鳴ぬ時　双雀

鶯の巣

鶯の巣もし形を似せさる篠哉　蕉兄

麦鶉

麦のらふ来る鶉は先にぬれり　蓼松

隠るや竹麦きしそのら　成明

鳥交

田鼠化為鶉　八月又ハ四月に作で田鼠となる

田鼠や春ふ雲雀の声もなく　梅室

鶉にも来る声ハ田の鼠　墨斎

蛤ふゝる　蛤をかんでとくかすり

蛤やまふらかふふたてゝ出る　桂立

蛤や大汐くさぬる槙のこり　浚吉

柳葉魚　漁り生せ柳のもとり

柳鮠（ハエ）

春の水ふ秋の木の葉や柳鮠　也堂

赤宵の酒ふ漁りて来さると

以ふ魚なる也二寸

桜鯛

鮟市のけ嘆きらせをり桜鯛　渓水

お鯉ふろさ肥る鯛と

桜貝

浦らの貝ふ似たれ之

桜うぐひ

春来の桜方の游ぶ魚

以る魚を以て鰭様の游

ふて赤きらと以ふ

蚕

蚕ふ飼んともれ香ぬ一茶

若ものふ飼ひの雲ふ紀春も　尚吾

かなさ　蚕ころも

若鮎

場きと来ふきらめて小鮎も　一茶

以ひもふ桃花女んなられなり　長暑

小鮎とらぬ

上り梁

川上への登る魚を丸

春の梁ぶ小佛　蓑笠

ふきり　そらの中ふ入る

魚をあくさ夜中らふ

つくるなり

擬魚

常陸の国桜川の赤魚
うらなしとて
とりつる魚なり
俗にちひさし

衣食

草餅

蓬もち　母子もち
餅もち
常陸の国の名物
濱高
山吉
玉暉

桃の酒

赤ろさけ

菜の羹

餅菜

擬衣花衣

むらさき花の花
ものみより

神釈

筆入

毎年祭礼
大塚八幡
宮八幡
家図
蓑笠

壬生念仏

十四日より廿四日まで神
仏にかりその中に壬生狂
言とて面をうつりく
舞ありり

擬若菜

壬生念仏　二
月十四日より廿四日まで
もろ〳〵の田面もすゑ〳〵
沼尻角田川
吉田のお
々の若は
寺時に貞
月十六日
此の頃毎年
仏にかり

市子拭

十四日京
寺にて
寺にて
像をか
仏像を
今日
陸奥の
ぬぎ
ゆふの
市子拭

安良祭

市子拭　凡芽
参詣
市子の雅楽
世村の百姓
俳り男女打交て
世さらい
世さらい

須戸の桜

源氏の君須戸へ左遷の時三月一日巳の日そこの浦辺に出たまひて人形を流し給ふ立たまひてそらひの風と奇なる風うそ須戸のうそきかくかなるうそ

稲荷の名出

神興二ノ年の日吉の山を出て油の小路七條南の御旅所へ出給ふ二ノ卯の日還幸ありと云大松明焚ちて此神の名を一又年の日卯の日をとりそうまくとも出うくやはりとりとも也

人丸忌

十八日は日和奇を好る人奇の命を修す

春の部終

夏の部

四月

初もち出す木の花は月の稜の　蘭
岩の上の山たくしは月の　松林

卯月

春と見しまゝの卯月の出る卯月　寒庵

卯の花降

うの花降りやみの花降りうの花降りやみの花降りうの花降り　陵

短夜

みじかき夜のあけぬるかと　玄悦
みじかき夜のあけぬるかと　保青

明易き

明易き秋の風吹きそめて　松帆

大矢数

都三十三間堂にて矢を射る人多く侍りけるなり　蓋宇

松前渡

元禄八年風たりき也　蓋宇
四月末を渡りけり

三月三渡り

扇

日の[illegible]　田板
[illegible]　一山
[illegible]　去山

團扇

[illegible]　良秋

日傘

[illegible]　春陳
[illegible]　田柳

風炉

[illegible]　[illegible]

昼蚊帳

[illegible]　[illegible]

蚊のうす手

[illegible]　[illegible]

夏の月

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

葵　まつ山ひ　紫ちゝひ　寒葵

蓍莪　ちゝやぐさ　木莪

一八　一八やぐさ　晴霞

麦　麦苗　麦の穂

茶撓草　鬼夏　雨考

紫蘭　栄玉

風車　九起

夏枯草　千日紅　天蓼　岩の花　志の根　蓮の実　笑秋　香芸　豆の花　塗水　ちとせ草

石蕗　[illegible]

文字摺草　[illegible]

鴨足草　[illegible]

宝釵草　[illegible]

蘭の花　[illegible]

王巻芭蕉　[illegible]

ましたま　[illegible]

下毛子　[illegible]

若葉　新樹　[illegible]

余花　[illegible]

若楓　[illegible]

夏の葉　[illegible]

木下雫　[illegible]

病葉　[illegible]

葉柳　紫檳榔の実　[illegible]

卯の花　白―　[illegible]

桐の花　[illegible]

茨の花　白―　[illegible]

花柚　[illegible]

[illegible]

貫盛子 [illegible]

白丁花 [illegible]

柿の花 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

常盤木類

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

青山椒（サンショウ）　実のもちきをいふ

蘿蔔（ダイコン）　太たて大きくしてそうくらきやう

葱（カリキ）　葉きのもちきをいふ

筆（ハキ）竹（キ）　くきもちきをいふ

蓴菜（ジュンサイ）又ナハ　あをそくしたる花くしてそろ上ゆ大小二寸斗て根原中ゝ

海松（ミル）　ふかくこいろ吸物にする

生類の部

郭公　鳥の名　風湖　一紅　玄渓　東雅　文蘭

雨古鳥　人の目をうしなひ　赤砂　英敏　蒙

行々子　ゆきゝ子　赤良

老鶯　ろうぐいす　蒙　英敏

ヤブ鶯　ひくふくいす　蒙

藪鶯　土佐ゆくいす

蝦蟇の子　ひきがへるの子

枝蛙　ゆびがへる

蚕の蛹（ヒル）　蚕の蛹（ヒル）

仮名ゆ蛹の字ちがひこゝ　伯南

蛇女　赤砂　英敏　蒙

蛇一夜にして二月出て子殺す　文政川の伊予ゆく　赤砂　英敏　蒙

蟾蜍子 かぶのまし

初松魚

[illegible] 貞徳
[illegible] 一樹
[illegible] 麦青

鹿の袋角 つの出そめたる

三月 [illegible]

不[illegible]

[illegible] 梅女
[illegible] 南華
[illegible] 一系
[illegible] 必系

蟭螟 [illegible]

[illegible] 松貞

牛 ごむし

[illegible] 宗和

蟇 ヒキガエル

[illegible] 曲象

蠅 まつ蠅

[illegible] 一葉
[illegible] 梅女

蝿 ちいさき蠅

[illegible] 小圃

蚊 蚊 ちいさき

[illegible] 宮前

蚊屋

[illegible] 田柳
[illegible] 重年

蚤

[illegible] 一葉

虱 シラミ

[illegible] 伯喬

肉 ト

[illegible]

水馬 ミヅスマシ

[illegible]

鼓虫

豆をうえ高くうえ上げ
くらひとりの
あれ田のふるう　伯喬

孫子

やうやうやはらかの色　あおろん　公恭

蜂

あ中の蜂よりはるかの人の見
貧て田を耕わ

白さきうつ　北月さく
見ぬ者花不　考うつく

三羽羽卒

青鷺

白さきうつ　考

鶏

てとあとそ　ぶうつ

鮎

おあと身えい　多く

泽波須

ぶうのそ

さくうつ形ち長はの方のあり　うく　蒸物

石ぶ　たけぶあとの名の
ろ　後ぶ　ぶ　ぶ　と

鯉

ぶ　ぶ

水鶏

後ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
つけて　ぶ　ぶ

魚藥

藥打

ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　

三月　三渡抱

新麦　今年麦

糒　ほしいい

青汁　麦を煮て作る菜よく

蟹ひしこ　うみのつけうを

干鯉　白干ほしこ

干鮫　ふく民の引うを

干烏賊　塩ほしいか

鮓　早すし　ほすし　笹鮓

風呂茶　ぢりぢりとふろうを

神釈

筑前条　ぶくまの社

三人ほど日ちがいて来ぬ　八三郎の方

ふくれ　小麦

灌仏日仏生会　仏の産湯

ねはんの会　釈迦の涅槃

千歳子　十歳の子

練供養　十三日西日中の思日

夏書　夏居　夏行　夏の文法

公事

貴人　大内の使者

五月

皐月

[illegible]

端午

[illegible]

菖蒲の日

[illegible]

菖蒲刀

[illegible]

菖蒲湯

[illegible]

菖蒲酒

[illegible]

菖蒲枕

[illegible]

菖蒲帽子

[illegible]

菖蒲鬘

[illegible]

菖蒲の根

[illegible]

菖蒲の葉

[illegible]

菖蒲の花

[illegible]

菖蒲の実

[illegible]

菖蒲の風

[illegible]

菖蒲の雨

[illegible]

菖蒲の月

[illegible]

菖蒲の水

[illegible]

菖蒲の雲

[illegible]

菖蒲の星

[illegible]

菖蒲の月影

[illegible]

菖蒲の月

[illegible]

菖蒲の月晴

[illegible]

菖蒲の月

[illegible]

菖蒲の月晴

[illegible]

菖蒲の月影

[illegible]

菖蒲の風

[illegible]

菖蒲の雨

植物の部

菖蒲　艾　あやめ　杜若　かきつばた　水仙　すいせん　梅　楊梅　雪柳

六月菖蒲　菖蒲湯

さつき　躑躅

くらべ待

蘭草

花つくし

田植

石菖　櫛とき　小菖　小田　れん　柳女　三殘　仝

早乙女　乙女　仝　早良

早苗

菱の花　菱小白　菱ひし　白一　宝八　白　白

河骨　上へ伸　伸　伸　川　時雨　菖蒲

藻の花　ふ白一　苔　苔

薄の花　白一　又　白一　白

菖蒲花　菖蒲　陸　陸

紅の花　紅　白　白　白

[illegible]の花　[illegible]

紫陽花（アヂサヰ）　[illegible]

百合花　さゆり　[illegible]

苔の花（コケ）　[illegible]

夏菊　[illegible]

石竹　[illegible]

南天の花　白く　[illegible]

梔子花　[illegible]

合歓花　[illegible]

躑躅花（ツツジ）　[illegible]

杜鵑花（ヅヒ）　赤いろ

花擂　[illegible]

十薬花（ドクダミ）　白——

柿の花（カキ）　白——

合歓の花（ネブ）　[illegible]

栗の花　[illegible]

さくろすれ　白ー又黄もあり

あふちの実　せんさんのもんさんの名

せんさんの実　白ー

柔の実　白ー　柳宝

杏子　うーもしつふ

枇杷　ちかも八つもあつまりてなり　くーもーくーふき

人参りや　黄のひうくふ山うすー　楚乃

青柚　ちかき黄づく

青梅

うれーもの孕つもを梅の一ッ　杜国

瓜の花　黄色　白ーうり　きうり

蓼　うーかくうふくー味

おすひ

ちかもくまくまで染色ーかおるけ　蕉

栗蒔　そばの蒔　胡麻蒔　稈蒔

そら豆　上ー白ーて中ー黄ーて名ー

豌豆　赤白の実ハ皮ー　黄緑の実ハ白ー

きうり竟　こまかき赤穂を多ー

あくうど　柴ーよくーもおくーすーもー　ちーもーてーくーふ

やーくーもんあくうどの枝ーあるの日近　蕉

ねぎー　ちーもーこーまーくーもー　山ーてみーこーうきて　笑

早松茸　ちりーもーこ

若布ー　伸ーてーすーこ　業ー　ちーもーこ

ちーもーこ　ちーもーこ　ちーもーこ　ちーもーこ　ちーもーこ

今年竹　枝ーまーこーもーひーこーこーて

ちーもーこーすーのーこーふ　一茶

ちーもーこーすーのーこーふ　ちーもーこ　ちーもーこ　ちーもーこ

蛙　[illegible]　香門
一井

蜀黍を入　もろやきうち

鳥の巣　[illegible]

水鶏　[illegible]

鴨の子　かもの子

鷺の蛸入　[illegible]

通鴨　[illegible]

鶉　[illegible]

鹿の子　清涼
雪洲

照射　大串　硯特

郷子　[illegible]

蛇衣とぬく　[illegible]

衣食

粽　[illegible]

柏餅　菖蒲酒

汗めくひ　[illegible]

かさひら　辻う花　[illegible]

ひとへ　ひとへ　時をう

神釈

加茂競馬　六日　[illegible]

藤の森祭　[illegible]

有あの日　[illegible]

冨士詣離　[illegible]

公事故事

草王　[illegible]

競渡　[illegible]

彩団　[illegible]

六月の部

六月　水無月

六月の部　[illegible]

氷室　[illegible]

暑　暑さ日　日盛

雲の峰　[illegible]

風をろ　[illegible]

涼風　涼し

納涼　涼し　臺

[illegible]　守雅
[illegible]　寿嶂
[illegible]　田柳
[illegible]　一声
[illegible]　春海

夏産補

[illegible]　食餞

三伏

[illegible]

三伏や[illegible]のたゆ[illegible]をもろ[illegible]　田　蓼花

青柴風

土用中吉天[illegible]

青嵐

[illegible]　冥吏
[illegible]　田柳

赤水

[illegible]　友甫

夕立　白雨　よだちつる

夕立とかしらひきすす　杯　三枫
夕きやうそ[illegible]ふと[illegible]　蓬汚
夕きやう新くつ[illegible]　守雅

産湯清涼

[illegible]　他力

清水　泉　泉水

[illegible]　[illegible]

交野　交川

[illegible]　義
[illegible]

土用　土用干

[illegible]　通志
[illegible]　其幾

晒井

[illegible]　百角

嘉定喰　嘉定銭　嘉通

[illegible]　曽良

桂香　　ひ　こ

簟

竹婦人　竹奴　抱節　節抱

夏瘦　　雲城　田柳

交ぶし

秋を待　秋を待　秋近き

交深き　交ぶし　交の別　扇

植物

氷室の花　六月

蓮　水茎　浮草

苔　柳　衣水　有秀

浮草

蒲穂　保右

夕顔　保右

昼顔　荷竹　衣水　有秀

風葉　拙女　其我

時計草

射干

青黛

王簪草

鷺草

蘭の花

鈎藤子

虎尾草

楮花

きりん子

赤子

青鬼灯　青蕃椒　青芒

麻　麻苧　機のまく　機の表

綿の花

蘭苧　菅苧　井

青田

田草取

瓜　まくわ瓜　青瓜

瓜　青瓜

百日紅

淩霄花

林檎

木耳取

生類

移り雲雀　[illegible]

螢　蛍　蛍　[illegible]

火取虫　[illegible]

犬蝨　[illegible]

毛虫　[illegible]

蟻　[illegible]

蝨　[illegible]

蝨取　[illegible]

結網　河ごり　[illegible]

[illegible]　田御

食類

一夜酒　[illegible]

葛水　砂糖水　振[illegible]

[illegible]　行憲

洗飯　水飯　冷汁　[illegible]

心太　[illegible]

二丁凡　[illegible]

沖鱠　[illegible]

二丁[illegible]　麦[illegible]

神釈

冨士詣　[illegible]　西馬

祭

[illegible]

祇園會　鉾の数をかぞへ時を[illegible]

[illegible]

雨乞

[illegible]

御稜　茅の輪　形代　三月

[illegible]

門社　門中に家ごとに設て掛ると云

[illegible]

夏の部終

秋の部

七月　毎月　[illegible]

[illegible]

立秋　初秋　今朝の秋

今日の秋　来る秋

[illegible]

涼暑　涼る暑

[illegible]

[illegible]

物嚴

[illegible]

穿小八　秋のひえ穿小ものく

稲妻

[illegible]

七夕

[illegible]

天の川

[illegible]

生身魂

[illegible]

中元

[illegible]

元亨二年正月廿五日　猛火ありて
緑鬼のごとくなる大きなる
十五日昔人の家に
ひとりせし　鏡を見ては
人の面影なりとも思ふ
思ひ出でて
つとへも知人に問ひ
つとへのもしへ
ひとりやあらん　井之

鏡宝八

ケトイ

盃

製造して重の者ども寺男　造作
重ねもの表のそれ
四角に小賣　鏡の内　窪地
ひとり〻多の出　可新

踊

外の踊りは中〻
ちのみなれ
手拭のごと
様に踊の
我〻は来て
出持ちて
踊りさた
一度ばかり

盃の月

踊浦　重ねて
踊の
の出
栄丸
芦丸
蓮葉
海

重の月　暗夜
月も
月
一影

扇重

扇重　翌月
月
月
月
永年
蓮波
函走
用舟

二百十四

稲
穂
二百十四日
生稲

二月に渡る物

相撲　里角力　壹角力
坂の
人
已
追
知
人
相
角力　鏡秋
角力　蜂巣
角力　二葉
角力　嵐丹
角力　係
角力　程式
角力　寄明

蛟龍の別

[illegible]

龍田姫

秋の山の色を濃る神と云
[illegible]

霧

[illegible]

雁

[illegible]

秋の田

[illegible]

秋の海　秋の水　秋の川

[illegible]

秋の山

[illegible]

秋の月

[illegible]

秋の風　蛛の雲

秋の風　許六　重厚　方水　文叶　雲風　芳樹　巴右　素竹　恵九　雨竹　月水　晩松　梅暁

秋の雨

秋の雨　冠山　雲山　一吉　秋の雨　将女　響山　山猿　ふけ女

秋の雨　ふけ女

秋の雨　一吉　雲山　秋の雨　山猿　ふけ女

秋の雨　ふけ女

蛛の雲　居嘯のうたをなぞらへ

新涼　柳の表ふをとゝ

独物の新

梳の葉　紙ふるひの梳の一葉ながれ　英山

千分の新ひと梳の一葉ながれ　英山

芋の葉の露　ほのぼのとうたをとりて七夕の

芋の葉の露　ほのぼのとうたをとりて七夕の

相一葉　一葉義をいはんとて秋の時

義ふるう昆の義重の相葉　雨竜

二日月の清る梢や　相一葉　梅之

月きらめく梢や　相の葉ゆ　嵐月

相葉ゆ梅義をし　秋のいろ　ふ年

桐　雪てん相くれかゝる　ふ年

数柳

ちり尽くす八月和尚之柳　慶端

舞ふまとつれ風もちる柳　徽吉

ちりそめもちりそめる柳　雪白

叶市

雪帝の叶市　秋の雨をひく　雪白

坂之の女子小雪り叶の市　千天

桃　春桃　俗ふるとゝ

木槿

[illegible]

梭

葉細く小なり [illegible]

木瓜の實

[illegible]

槐の花

[illegible]

常山の花

[illegible]

棗の實

[illegible]

蒲萄

[illegible]

朝顔

[illegible]

[illegible]

萩海棠

[illegible]

桔梗

[illegible]

女郎花

[illegible]

男へ

[illegible]

萩　必萩　小萩

[illegible]

芭蕉

[illegible]

海草

[illegible]

別名

[illegible]

嵐尾花

[illegible]

小車

[illegible]

觀音草

[illegible]

茅切州

[illegible]

五味子

[illegible]

仙翁花

[illegible]

鳳仙花

[illegible]

夏解草

[illegible]

益母草

[illegible]

曼珠沙花

[illegible]

うちんのぢ

[illegible]

胡摸草

[illegible]

苕莠の花

[illegible]

蓮の実花

蓮の実[illegible]

青瓢

[illegible]

粟の穂

粟の[illegible]

蕎麻

[illegible]

稲の花

[illegible]

稲粟の穂

稲粟の[illegible]

刀豆

[illegible]

隱元豆

[illegible]

西瓜

[illegible]

南瓜

[illegible]

淡柿

二月小渡物

蕗

[illegible]

芒

[illegible]

吾亦紅

[illegible]

韮菜

鬼灯

葛

草の花

志の姫艸

蔦椒

茅萱

狼尾艸

若草

ちりみ

綿の花

牛蒡

糸瓜

冬瓜

芋

生類

雫餘子（スヽタレ）　つゝ袖つものつゝふまつる
医粒のめ　しめ　ふまて
紀略ふし
ふゝ　ふゝ　ふゝ　

[illegible]

[illegible]

輝　竈馬

[illegible]

茶立虫

[illegible]

俊織虫

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋の蚊

秋の蚊のせまりくて[illegible]

[illegible]

蚤送り

[illegible]

芋虫

[illegible]

蜻蛉

[illegible]

蟋蟀

秋の蝉

秋の蜂

蠅

蘭の花

蓼喰虫

蓑虫鳴

蚯蚓鳴

秋の蝿

秋の蟬

常山の虫

二月小渡物

小鶯

秋ハ小鶯ハ鶯ノ子ナリ　ツバメ　ツバクラメ　ツバクロ　ツバクラ　ツバクロ　ツバクラ　ツバクロ　ツバクラ

鹿　小雲・鹿　只雲しかとこれを

蘿蔔　菜玉　夷菜　南月　新里　岡崎　諸家　草丈　皮南

鹿苗　しかの幼稚なるを苗をいふ　色ふかくとるべし

蒔苗の上をつくる法　苗を

拔水　四月小麦を刈り終りて後田を耕す

蒔垣　田へ垣を曲めこ

鱸釣　大きさ二三尺ばかりなる鱸をいふ　とりよ美味なり

海魚釣　大きさ三四寸以上　海魚を釣りてかりあちらなどを

小豆

小豆　あかのくさのこの中にふくるるもの　中もの上等なるを

鮎藻　川上る鮎のもの事をとる

[illegible]藻　[illegible]

[illegible]鮎　[illegible]

九方丈　[illegible]

鰻藻　[illegible]

江鮒　[illegible]

業山子　[illegible]

[illegible]

添水

鳴子

風鳴子

引板

焼弟

孫弟

弾

鉤かし

衣嗜の祝

法し雑

蓮飯

新茶湯

焼茶

踊りこをとりかくひら

神歌の祝

地野煤掃

七日糸新

地の場立

六尺参り

十四糸建仁寺の南

迎接　[illegible]

接賓　[illegible]

門茶接待　[illegible]

夢覺賓　[illegible]

靈祭　[illegible]

魂棚　[illegible]

[illegible]

迎火　[illegible]

送火　[illegible]

墓参り　[illegible]

絶緣僧　[illegible]

内裏御門焼義　[illegible]

焼義　[illegible]

宮焼義　[illegible]

[illegible]

大文字の火

[illegible]

七月上旬大嵯峨の[illegible]

[illegible]

御射山祭

[illegible]

[illegible]

八月の部

菓子

八月や二日の月も北へ　千代

[illegible]

八月朔

八月朔日をつゐたちと[illegible]

稲のこのうをつゐたちと[illegible]　秋水

四の実の義四のこゝろをかりて

四の面の日　[illegible]

八月やかり[illegible]　溪窩

八月やちの[illegible]の川　生徒

八月や叫もこの[illegible]

絵びかい　八月の[illegible]

[illegible]

絵びかい　昔八枝[illegible]　繪水

[illegible]

庶の出代

竹の春

[illegible]　雅雀

[illegible]

[illegible]　地雀

[illegible]

[illegible]　一二三

[illegible]　友南

[illegible]　畢南

[illegible]

[illegible]

[illegible]

時雨降る山の端のしぐれ
白ふつゝ[illegible]
物思ひや貝のうらゝに門さゝら　物思
物思ひや猿の小牧の行末　晨月

十四日の月八生七の月也

待宵（マツヨヒ）

月ゆゑ[illegible]
[illegible]

名月　良暁

名月や海も山も[illegible]　越人
名月や[illegible]の上の[illegible]　牛角
名月ふつゝと[illegible]の山　清甫
名月や[illegible]水のうへ　知足
名月や山の[illegible]八四[illegible]　二桂
名月や[illegible]の味　新歩
名月や金[illegible]　[illegible]
名月や海のうへ[illegible]　[illegible]
名月や綱うち掛る山[illegible]の上　寥海
名月や[illegible]の[illegible]　[illegible]
名月や城をそれ見[illegible]　[illegible]
名月や[illegible]　[illegible]
名月ふ酒ひく井の[illegible]　[illegible]
名月や[illegible]を繋ぐ[illegible]　[illegible]

今日の月　名月のうへ

出[illegible]山ふ月[illegible]の月　帆巻
ひ[illegible]の月　一雅

月今宵　十五夜　芋名月

望の月

[illegible]八日月[illegible]

十六夜（イサヨヒ）

[illegible]
既[illegible]ふ[illegible]　去来
[illegible]の[illegible]　理月
[illegible]ひや木[illegible]ふ[illegible]　蔡湖
十六夜の[illegible]谷[illegible]　生徒
[illegible]ひや[illegible]　秀泉
[illegible]ひの中[illegible]先を[illegible]　生ふ[illegible]

月

月ふ[illegible]六枝ふ[illegible]　草芽
月の[illegible]　板女
[illegible]月の月[illegible]　越人
[illegible]月ふ栄つ[illegible]　松年
[illegible]月ふ[illegible]の声　清甫
[illegible]月の[illegible]　松友
車[illegible]　清泉
[illegible]の月ふ[illegible]海　清山
[illegible]　[illegible]

月代やひろう山ら〻〻拾ふふみ　松琴
かく山の〻月小舟こぎ出る　中叶の風　不事
刈さ迄残ふたゝ田中月淋し　千高
月のかもの〻ものゝ人なき池水れ　栄主
人行金うふまつ月の影　文九
一期の月待ふゝ中ふゝ　藝池

秋の月

秋の夜八月そも老月夜代　士郎

月の秋

のゝゝゝふゝゝなる月の秋　清甫

月待　立待月 十七日　居待月 十八日

伏待月 十九日　更待月 二十日　夜待月 二十三日

十六日よりの月八ちゝふ
ゆゝく夜ゆゝ待ゝ月ゝゝ

有明月

二回ゝ二回の時月八ちのゝゝゝ

弓張月

二回ゝ二回の時月ちゝ下八ゝ平

上弦　下弦

上八ゝ二回月ちゝ下八ゝ平
七八日の月ゝ

望月夜

月のかゝ紀夜の早ゆゝゝ
ゝゝゝゝゝ光ゝ合ゝ色望月夜　伯高

植物の部

八重桜

ゝゝけゝくゝ八重桜の咲ふゝ　重雄

初紅葉

くゝゝひのゝれゝゝ紅紅葉　雅岩
酒のひゝ紅葉ゝ　嵐松

花の木数

ゝゝのゝゝ木ゝのちゝを以ふ

桜蝶（モドキ）

未ゝゝ花八葉花て実ゝゝ
のゝゝと知ゝゝ
樹ゝゝ葉の形ゝゝゝれゝ桜ゝゝ紀　伝壹

木犀花

かゝらのゝゝゝ
ゝゝ木犀七ひゝ香ゝ　ゝゝゝゝ美ゝゝ
ゝゝゝゝゝ　ゝゝ色ゝ　ゝの赤り　粮志

漆の花（ウルシ）

ゝんすの花ふ仏ゝ

銀杏（イテウ）

ひゝゝふゝれちゝゝれて中　主ふ和

柘榴（サクロ）

実ゝゝゝ所ふゝゝ社孔　主行
木の母せゝ猛ふゝの入ゝゝゝ　碁拝

日ゆそうのはやり歌やはくろ歌　以　新

葛の根掘　くつの沓源を用う又くもの
粉ふせぶす

芙蓉（フヨウ）　ろくんのおふ似くうをぶうみ
とハ蓮のるこ

沒咲のたくこと花しれぬふふ　林曹

杜丹根分
ろけてをるハをひすをろん　聚珍

藍（アイ）の花　赤〜葉ハをふひと〜
葉ゆ今陰ゆまるもの蓮の花　花山
色ハ赤てゆ色ゆ色沒こひのまれ　車沈

敗醤（ヤレハス）　ものの葉のやれ〜こ

紫菀（シオン）　鬼の赤こ叶とも

花野　ほ〜ほのるふ心ハ一　昊
枯るをこ行ゆるとと花ゆ不白
ほのきの葉屋新〜ものふ　冥沈

水引の花　細きあくきく〜赤きをを
水引ゆもつて花さ〜ゆの沒　蕙酒

あ〜ろいの花　孔雀

檀特（タンドク）の花　葉ハををふ似をちいを
花ハ白〜

素草　葉ゆ子似て花きし
白叶とも

金剛草（コンゴウ）　相もつふ紀ゆなり葉も
ゆも新ふ似くふ蓮のを色
ふ似〜変なる

烏頭（トリカブト）　これきの似ゆ　ふをとハ弱つをき　を　特
葉ゆ紀ふ似くゆ色沒紫
ゆをあん栗のこふ似くう

黄蜀葵（トロロ）　むを紀く葵をちとうこみを
新ひらき蓮ふあるくゆを
ふ花ゆ

三七の花　ゆうさ三四人葉ゆ紀を似くう
葉ふ赤紀実ゆう花葉似ゆ
ゆく金糸のゆきのゆ〜

荊薑（カルカヤ）　ゆ紀を芒といくうゆ紀をゆ色
とふ似ゆうゆ色ハ穂をゆ〜て
麦ふ似ゆ変ゆう

鶏冠花（ケイトウ）　新ゆゆの新ゆゆもゆき風情ゆ
麦ふ似ゆ

葉鶏頭（ケイトウ）　鶏来紀とも
鶏冠花色ゆをあく葉ゆ流〜麻　を　似
鶏冠の新ゆゆをを花ゆうゆ新　寸　花

苦丹

甚統藤

鶏草

茶場

苦参

胡黄連

新うやき

藤の花

藤麦の花

車前子

菅の花

鳶尾

通草

荔枝

菱

種飄

種茄子

穂花　花花　尾花　花用

木賊苅

芦の花

浮草根

大根蒔　菜種蒔　からし蒔

胡麻苅　粟苅

小菜　貝刻菜　清菜

河引菜

中秋大根

唐茶

南蛮きび

蘭　蘭將蕈　このすま　初蕈

かう蕈　椎蕈　柳蕈　花蕈

松蕈　紅蕈　卜治蕈　萩蕈

栗蕈　霊蕈　松蕈　ちもだ蕈

兎の草

早稲　稲莫　稲の西そろひしを　稲の浪　田守

山田守　老見うしなひ　赤田かり

田苅　稲かり　赤田かり

稲かり　稲かり　稲かり　中稲

穫稲　穫米

稲糸　稲　稲くず

晩稲　九月ゝ　穂稲　新藁

生類の部

乙島帰

初雁　渡る雁　来る雁

渡り鳥

蔓喰

[illegible]

色雀

[illegible]

小雀渡る

[illegible]

小雀

[illegible]

田雀

[illegible]

山雀

[illegible]

四十雀

[illegible]

四十雀の老たるもの

[illegible]

五十雀

四十雀の老たるもの

同白

[illegible]

猿子雀

[illegible]

眉白雀

[illegible]

頬赤

[illegible]

藁吹紀

[illegible]

猫隠

[illegible]

連雀

[illegible]

豆鳥

[illegible]

鶸

[illegible]

啄木雀

[illegible]

鶺鴒

[illegible]

猶子香

[illegible]

椒香

[illegible]

稲負香

[illegible]

鶏

[illegible]

鶴

[illegible]

太刀の魚

[illegible]

河蒜

[illegible]

鮭 鮪

[illegible]

江鮭

[illegible]

鮀 [illegible]小八

鮀 [illegible]小八 [illegible]

衣食の部

砧

[illegible]

新綿

[illegible]

新米

[illegible]

除蘿蔔

[illegible]

中汲

[illegible]

新酒 今年酒 [illegible]

古酒

[illegible]

醴漬

[illegible]

鰐黒漬（ワニクロツケ）　ツケものの名。ものをつけること。

神釈の歌

后（イノチ）彼岸（ヒガン）　生死涅槃。

敘生命（ノベイノチ）　十八日生るゝ人を祝ひ、歌を書く。又生るゝ人の中に、歌を書くもあり。人の中に、歌を書くもあり。人生れて、歌を書く。台湖。而乐。

風呂　大風呂に入る事。

野辺念仏　摘加吉歌数仮と唱へ、仏像を拝ませ、ふくろを元ゝ。

菩薩祭（ボサツマツリ）　肥前平戸、毎年八月十五日。

故事

駒曳（ツヒキ）　駒迎（ムカヘ）　一名を天保八年三月。

極知ふけ　なるの歌。弱もひく人　弥六

釈奠（シヤクテン）　せんとも。二月八日、孔子祭。十哲の中に、孔子祭。十哲の中に、八十人の弟子なり。

司召（ツカサメシ）　十一日。

猿若さい　猿若さい。

秋の宮　后宮の中なり。

九月の歌

菜月　菜の花。

長月　長月。

重陽　九日。菊の花。

菊の雛　九日。

十三夜　十三夜。

[illegible]

秋色　山路ふ　[illegible]

秋の[illegible]　[illegible]　乐我

露時雨　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

露　[illegible]

[illegible]

霧霜　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

秋深き　[illegible]の秋　秋の別

秋の限　秋の名残

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

九月尽　冬近　冬を待

冬隣

[illegible]　[illegible]

新秋

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

植物の部

菜　菊合

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]

世のいろふかくなりぬれば小菊の色まさる　秀菜
枝も折れこまぬ小菊の葉ぶり　菜玉
野の草をかりこめ小菊の色ひろう　寸有
野辺をかりこめ小菊の葉ぶり　昇甫

菜の萬福

といふ花せもとゆかしもとゆかしもとゆかし

草紅葉　蔦紅葉　吐糸　栄紅葉　栄玉　松亭　田柳　長光

[illegible]

紅葉の殼　[illegible]

色づく松　[illegible]

柾　つる州あり

松毬　俗ふ松ぼくりと云ふ

南天の実　赤し

うるしの実

榎の実　[illegible]

柿の実　大小[illegible]

椿の実　[illegible]

楮の実　四つふさ[illegible]

山の中へ[illegible]

せんこんの実　[illegible]

薔薇子　[illegible]

枳殼　俗ふ[illegible]

九年母　[illegible]

柚

柿子　[illegible]

蜜柑

金かん　[illegible]

こうりん　[illegible]

けんぬ梨　[illegible]

雲州橘　[illegible]

橙

松子柏　木ハ柏ニ似タリ

息角　俗ニ沼ノ子と呼ム

茅生姜

榛　椎の実ニ似タリ　酒の肴　赤雄

櫻の実　くるるるる似て考うるに成ハ

木の実　木の実ニ似タリ　香茸

樫の実

栗

珊瑚　花ハ赤く実ハ白ク似タリ　素昧

梨子　甚酸

栗　花ハ白ク実ハ赤ク似タリ　赤昧

椎の実　味ハ栗ニ似タリ　香茸

柿　味ハ柿ニ似タリ　草茸

新榧　味ハ榧ニ似タリ　松茸

豆引　小豆ニ似タリ

暗稲　おくて

孫稲茸　ひのちの稲ニ似タリ　椿のうる

ひのちの稲ニ似タリ　実のうるる

ひのちの稲ニ似タリ　水一俵

生類の部

尾張鴨　肴什

紅葉鮒　色ハ紅葉ニ似タリ　肴什

菊酒菊

九月九日の日の朝に菊の花の露を受て酒に浸す 山静

熟の栗柳

[illegible] 蘇山

雀海中入給成

給とかりとも[illegible] 蘆面

給[illegible] 甫年

[illegible]祭獻

[illegible] 素外

[illegible]

[illegible]

[illegible]

石雑の餅　十五日蓬人参を入れてそれにうるし
　　田楽
宝の市　十日大根売り　宝井寺
　　うるかり　外市　市の外　西市
人中と出て打ち市の外　陳ちく　麗ちく
岩倉祭　十八日小豆ちく　ふかし豆　蜘蛛
　　まりちく　ふかし豆
　　松ちく　ちんぢ　ちんぢ
公事　故事
童陽の宴　業平の高
御燈　天子北斗　小燈明を
　　さしめ　ふと　ちう

秋之部終

冬の部

十月　小春　小六月

十月や稲ひく傘の汚いら武　器水
十月や　ひく　汚き　杜の一　一雑
十月や　ひく　汚き　杜の一　一橋
十月や　ひく　汚き　杜の一　一柳
　　田
　　里高
　　迷晋
　　友泉
　　柳一
　　寿思
　　窟世
　　松事
　　古鶴
　　一雑
　　和風
　　発里
　　市孫
　　新部
　　神高
　　砂巣
　　雪巣
　　芳賀
　　芳孝

初冬

神無月　神立風

下元　十月水無月と解す

初時雨　志ぐれ

小時雨　小春

[illegible]

[illegible]

[illegible]

風やこの所うしろきこの山の月　千結
ちりにや春ふる雪うしの有秋　和慶
湖はさ、木ちらしの月秋　和村

初雪　たひら雪

初雪や州を打てくらいふる　千湖
その雪や先の紙ひとの碑日向　其年
初雪や橋を行せらしうしてひと　橋花
初雪や雪の葉にしけるの秋　一雪
鍋つくるこうやの雪　芳峰

初氷　薄氷

枝の一ぞ打こゝろやこの川氷　橋花
橋打うちぬけるや桶のうしろ氷　北浦

水鉢

水うとて芳こゝき尾の笑ぶ　橋月
かるしやの水の手うち水のうく　雪朴
水青の葉う洞る蛙京これ　刺花
山水や洞つゝ一ちも秋の青　精和

冬ごもり

冬ごもれやふるの沼さう菱島　葉村
ごもるこもや風の刻しうの宛の完　茶文

北惠塞

炉開　火燵

炉ひらいを衣をいろうこうすり　芭山

二月ふ渡地

雲

世をを雲をを惠ゝ飛ゝれ而乐
雲のいのを

うをを雲ゝ深ゝ雲の行ゝ
ゝハ打ふゝ雲の秋ゝ
打雲ゝ　雲を稲ゝ雲の山　茶文
惠ゝと以ハとゝゝ　雲の門　玄来
老ゝうとゝをゝを打ゝ雲の笠　士朝
ゝふゝとゝをゝをゝ　雲の雲　吾七
一相二相ゝ雲ゝ　州文
山四のゝゝゝゝゝゝ　雲孫
雲ゝゝゝゝゝ　丸明
ゝゝ析ゝゝゝゝ　泉秋
笑ゝゝゝ嶺のゝゝ　雨丘
なき嶺ゝて雲後ゝの　友甫
ゝ雲ゝ小雲ゝゝ　雲の山　桂手
雲ゝゝれてゝゝ　雲の雲　桂手
雲ゝゝれゝゝゝ　雲の峠　寥洲
雲の秋ゝ二雲ゝ惠　析一
雲の日の雲ゝ小雲ゝ　桂月
つゝ雲ゝゝゝ雲ゝ時のゝ　雲年
析ゝ雲ゝ雲ゝ雲ゝ植ゝ　桂女

氷

厚氷　氷凍

霜

霞

冬の月

寒

火鉢　火桶　火ろり

埋火

懐炉　懐炉ごたつ

炭　炭俵　白炭　炭竈

湯殿

山眺

海　霧　月

冬の田

冬の秋　冬の月

冬の川　冬の山

冬の海　冬田

冬の霧

冬の樵

樽

樹の新芽

若葉 木の葉

[illegible]

樹葉

葉の新芽

茶芽

柳芽

蜜の芽

枯柳

田ハ田ノ下ノ方ニ　柳ノ下ノ方ニ　柳ノ下ノ方ニ　柳ノ下ノ方ニ　柳ノ下ノ方ニ

田の作りなども　柳　柳　柳　柳　柳　柳　柳　柳　柳　柳

枯　枯　枯　枯　枯　枯　枯　枯　枯　枯

枇杷の花　小白

蓋瓶の紅ゐん揚ゐぜひるあ　ゐ行

沙羅ゆ打ふハふ見ゐ　ゐの花　花友

ゑとゆふ沙ゐゆゐ　ゑひるあ　林芝

枝主の折ハゆのゑ　ひ主の　ち　千天

八重の花　紅一　葉ハ柳ゆ　花

葉ハ　葉ハ　葉ハ　葉ハ　葉ハ　葉ハ　葉ハ　葉ハ　葉ハ　葉ハ

柳ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ

柊の花　ちゆゐ　ゆ　林藤

柊や　ゆ　可　林藤

柊の花　牡木ハ花受　牡木ハ実生

紅葉散　ちり　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ

[illegible]

蕗薑荊

[illegible]

大根蔓　蕪蔓

[illegible]

三月三渡る物

冬木立

[illegible]

冬の梅

[illegible]

冬椿

[illegible]

水仙　菜ものの

[illegible]

冬菜

[illegible]

枯野

[illegible]

冬桔

桔立ち冬こがれいあり　松の寿　極左
冬こがれ　蘆子の せこ　渓舟　素渓
冬こがれの　眼光ふ　寿　丘の寿　きく　雄

枯野

枯のむこ　ふ　ふ　ふ

[illegible]

蟬

[illegible]

ちどり

[illegible]

水鳥　深森鳥

[illegible]

松の葉のうらうら中やうさ秋雨　九十九

鴨

カリガネ　ちひさき

[illegible]

鴨　小鴨　羽太

[illegible]

刀魚

タチウオ

[illegible]

いちむら

[illegible]

そし

[illegible]

木兎

[illegible]

二十二夜

[illegible]

[illegible]

蔬菜　ひきなすのたぐひ　蕪村

[illegible]

四林　[illegible]

紫溪やしやくとりの月　[illegible]

烟代寺　[illegible]

[illegible]

竹筒　[illegible]

曙雪　[illegible]

[illegible]

[illegible]

元食の新

玄猪の餅　[illegible]

口切　[illegible]

干大根　[illegible]

干菜　[illegible]

浅漬　大根く　**菫漬**　菜ゐう

[illegible]

三月小渡物

鰹汁

海藻羹

貝焼　**鶴焼**　**杉焼**

凝鮒　**煮凝**

納豆汁

蓮麦湯

風呂吹

胡瓜　**九胡瓜**　**南胡瓜**

足袋

蛭衣　**布子**　**綿子**

綿おろし

[illegible] 伯爲

蘭図

からけ茶と木戸茶さまるふる会 一 青
引もろと二枚くらけるふんぶ 九 峰

衾

[illegible]

紙衾

紙ふて作ること
[illegible] 巖重

鷲の衾

[illegible]

神釈の歌

神送り 神の旅

我あの矣之神七月作せよ 一 茶
[illegible] 鬼つら

神の留主

[illegible] 苔

出取越

[illegible]
冬を咲花行しとれとこ〜 木曉

[illegible] 波間

芭蕉忌 時雨忌 翁の日十月

[illegible] 史邦
[illegible] 一茶
[illegible] 其角

達磨忌 五日

[illegible] 芳草
[illegible] 蓼波

御命講 十三日

お命講や油の中の[illegible]
[illegible]
大冬も拍子数あり御命講 仲麿
菓のうれれかまれて御命講 九江

十夜

[illegible] 里門
人[illegible] 渓雨
[illegible] 四人
[illegible] 徐童

奥子講 二十日

[illegible] 鮮流

大根を綱かけ干すなり　寒中
山水雪降る時　風琴

神迎　十月十日

戦きくの樹　そんや神　兼
ひすの八子の祝ひを呼ん神　伯高

公事数事

更衣　孟冬の日　もの

玄猪　ねの子の年ふる

十一月乾坤

神冬　霜月

霜月や神の掃除ぶりつれ　草栖
霜月や拍子の出て　寒浦
霜月の初や寒中の蔭の音　雉石
霜月の月　秋ふる　菊芭

冬至　日のうらうらとも光の
さうひ　ひ
冬のひる　秋のうらうら　冬ぶ　ひ
髮剪

うみ五色　ちうふうの懸巣　重厚

暦賣

芝居顔見世

雪吹　つもる雪吹ふ
吹ちらす　ちり
まの向ひふうふ　雪吹や　町の風呂　庭鳥

雪之巻　まけ　紀氏　ふ　文　吹

雪やけ　ぬて　指ると　吹　もの

雪竹　乃のしふふ　ふ　ま
雪　竹ふひとよ　食う　肉張　馬　丹六

雪花け　雪孫

板塀ふ　雪　つて　毛　子　毛

雪拂　雪達磨

降雪　ふか　魚や　雪　鉢　橋　雪
地　ふ　紀　ふ　雪　ま　一　諫

雪車

ふ　車　の　ま　ま
ふ　ひ　ふ　ふ

ふ　ふ　ふ　

壺酒

綱如紀

校連壺

氷柱

霜柱

霜の柱

冬玉柱

植物の部

冬玉柱

深山榕

彩生薑　生姜

生類の部

寒苦鳥

杜夫魚

鱗寒

鯽

衣食の部

稗蕃

かぐら　人丸の女房ふるまひ　[illegible]

霊酒　要酒　玉子酒

生姜酒

神祝の部

御火焼　庭火　松拍子

法社にて[illegible]

子焼　子の月子の日子の時小豆天の社へ行て焼んと思てうつり

[illegible]

敬小豆小人ハ[illegible]

[illegible]

吹華祭　八日法法の十何る神さうん

[illegible]

[illegible]

神乗里神乗　神乗ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

空也忌　十二日

[illegible]

鉢扣　十二日より四十八[illegible]

[illegible]

[illegible]

大師講　廿四日[illegible]

[illegible]

報恩講　廿二日より廿八日[illegible]

公事故事

新嘗會　中ノ午の日神祭を神と[illegible]

豊明節会　中ノ辰の日大子の年の

[illegible]

[illegible]

十二月の部

臘月　辛丑月

[illegible]

私大　南部地方では六十二月小月なる故八月五日の祭日を吸田と唱へ

[illegible]

辛子の入

[illegible]

辛子の入　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寒の白

[illegible]

極物の新

臘梅　黄梅の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

神釈の部

寒垢離

[illegible]

念仏

[illegible]

臘八

八日臘月八日寺院にて釋迦牟尼佛の成道の日なり臘八粥を作りて佛に供ず今墨あり[illegible]

和布刈神事

[illegible]

出車故事

[illegible]

歳暮の部

師走

[illegible]

年納

[illegible]

年取魚

[illegible]

鰤の粥

[illegible]

[illegible]

煤掃

お[illegible]の上てもそもそく[illegible]江之
[illegible]もの[illegible]灯の[illegible]一[illegible]

餅搗

餅[illegible]もち[illegible]
餅[illegible]の[illegible]一[illegible]
[illegible]の[illegible]芸
[illegible]畑[illegible]江[illegible]

古暦

[illegible]る日数[illegible]吾七
[illegible]幾秋

柊賣

[illegible]一瓜

篠竹賣

[illegible]五[illegible]

年越

厄掃

[illegible]

年玉

[illegible]

年の市

[illegible]

年木樵

[illegible]

門松

[illegible]

衣配

[illegible]

年内立春

[illegible]

年の夜

年の内　時蔵　年の内　保山

年の内　嘉兵衛　年の内　保山

年義　大阪日の表神社又ハ今年とハ

年近　年を惜

年の暮　祈なし　年の尾　九江

年の湊　年惜し　年の波　年の瀬

年の果　年の波　年の瀬

年の別　年の表　大祓し

年の名残

月雪とのこりなく年の暮　若山

行年や某ハ某を記橋の　全

若菜ひも表ハのる年の湊ハ　岩松

せり合ひ年のくれとの海り舟　保右

年の瀬や涙ハれハ板　柳　井之

うつるかハ　年の表　寥湖

年ゆくのかゝんけとうの之記　一茶

無名無元　雪出し

出初や四月元の郭　大江丸

ちりそ不笑をとゝ世ハ　橋舎

園見

ほとゝぎす　年の暮を送ハ若て

方記年のかりそ年の

年を思ひと同ゆく紅花　紅葉

春ゝ人ハ待ひ七のかる紅花　来山

若ゝ義不異のき武丸ハ　蛾眉

春ゝ時来を絆ハ園花ゝ　素淵

小暑日　大暑日

大つゝ

小暑日　大暑日　橋女

涼さ入れ　大暑日　茶

翌日ハ　大暑日　民丸

年の灯ハ園と成ハ　大暑日

除蔵

大ゝ蔵の表のゝ

琴ハ蔵の冬ハ忘れて除表の　保右

橋打て成ゝ除表の涼ゝ　宗祇

仕りひ祝ゝ時ゝ除表の　其物

吟ゝ蔵ゝ琴ハゝ除表の　物右

冬之部　大尾

增補 切字の彙語

○去 [illegible]

現在 [illegible]

未来 [illegible]

○白 [illegible]

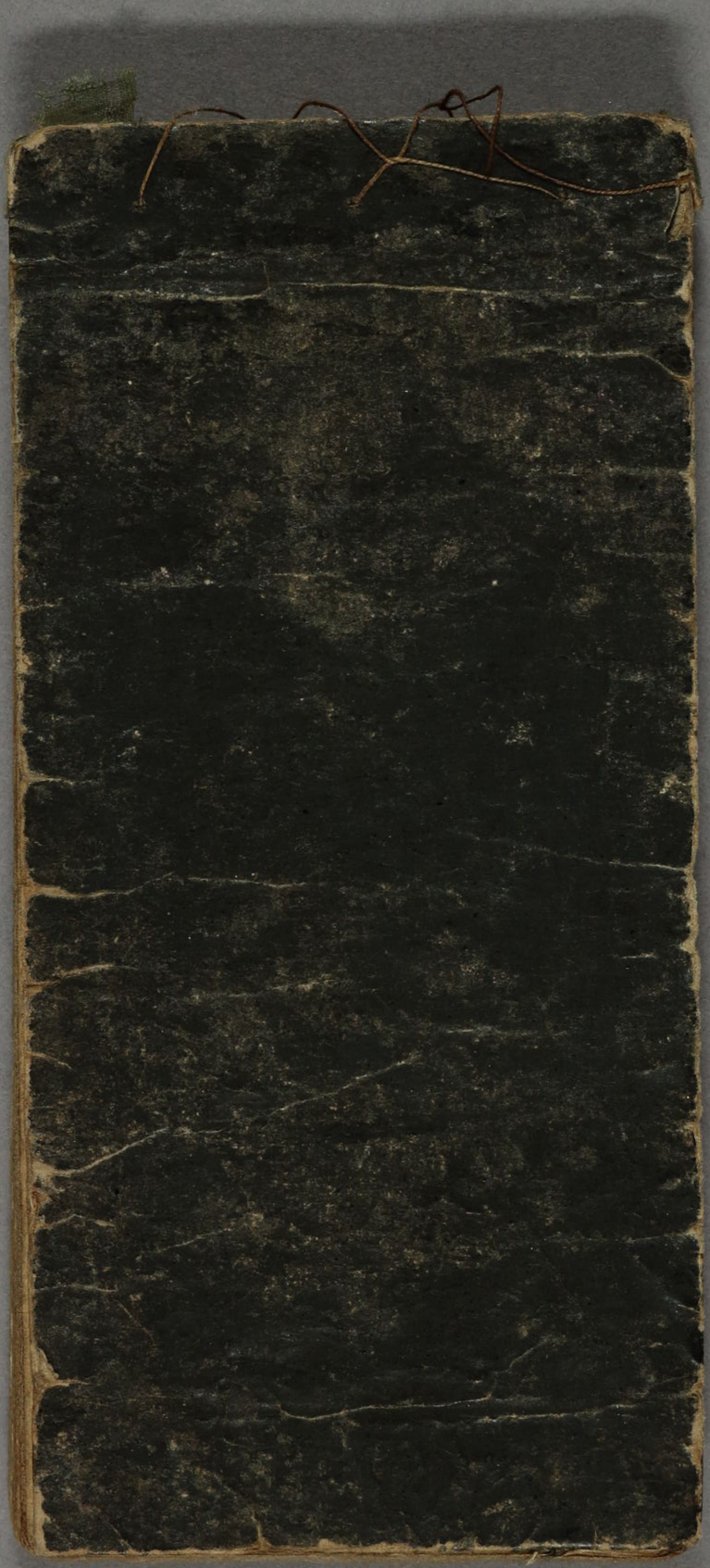
○見 [illegible]

又曰 [illegible]

○切 [illegible]

○切 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[